

河北新報

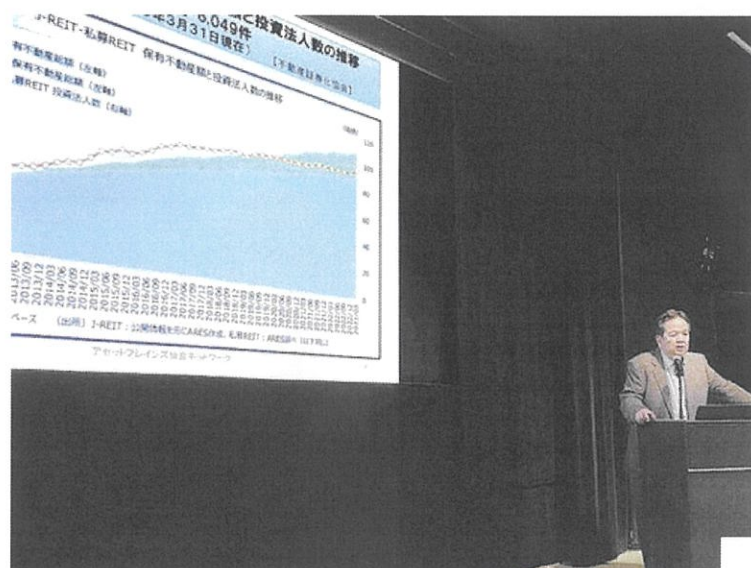
2023年（令和5年）5月27日（土）

仙台圏の不動産動向を専門家が解説 仙台でセミナー、関係者ら100人参加

2023年5月27日 5:00 [有料]



金融、不動産の専門家らでつくるアセットブレインズ仙台ネットワーク（仙台市）は26日、仙台圏の不動産市場動向について考えるセミナーを青葉区のせんだいメディアテークで開いた。会員企業の関係者ら約100人が参加した。



仙台圏の最新の不動産動向を解説したセミナー

取得価格低下の可能性 学生の賃貸の成約数では二極化も

ネットワークの佐々木正之事務局長が2022年の事業用不動産の取引状況が105件、総額1311億円となり、件数、金額とも過去10年で最高を記録したと報告。首都圏からの大型物件の取得と宮城県内企業の旺盛な投資意欲が重なった結果と要因を解説した。

金利上昇への警戒から投資を様子見る機関投資家や企業が出始めていることも指摘。「右肩上がりの流れではない。取得価格も下がる可能性があるが、これまで（高過ぎて）投資を諦めていた人にとってはチャンスになる」と展望した。

不動産調査会社シーカーズプランニング（仙台市）の佐々木篤代表は今春の賃貸住宅市場に関し、市中心部と地下鉄沿線に成約が集中する流れが強まったと説明。賃貸管理会社への調査で、学生の成約数が昨年3月に比べ「増加」「減少」と答えた割合がそれぞれ増え、二極化が進んだとも報告した。今年4月の東北学院大五橋キャンパス（若林区）開設が要因という。